

# 理事会のお知らせ

**主な議題**  
課題解決、会費改定等  
日時：3月3日(土)10:00~  
会場：海老名文化会館

# 神奈川施保連ニュース

発行人 岩本 邦雄 編集人 杉山 昌明  
発行所 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14  
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会  
事務局 TEL&FAX 045-751-1010



## 年頭にあたって 神奈川施保連会長 岩本邦雄



神奈川施保連のみなさまあけましておめでとうございます。ごさいます。

昨年は、東日本大震災が日本に大きな被害

や多くの被災者をもたらしました。この災害で苦しんでいる知的障害者の方々に支援しようという、全施連の呼びかけへのご協力により、皆様のお気持ちと義援金を、被災された障害者の方々に直接お届けすることが出来ました。改めてまして心から御礼を申し上げます。この活動につきましては、引き続きの長い支援を行うということして、今年度も義援金をお送りしたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在、知的障害者やその家族が訴えてきた「障害者権利条約を踏

## 神奈川県施設団体連合会と情報交換会を実施

一月十二日(木)午前十時から県社会福祉会館会議室で情報交換会を実施しました。

団体連合会から安藤会長(星谷学園)、副会長の中西氏(青葉メゾン)、阿部氏(いぬくら)、中島氏(やまびこ工房)、他六名の計十名、神奈川施保連から岩本会長、副会長の尾野

また障害者制度改革「が進められつつありますが、これに関してはいくつかの懸念があります。

一つは、昨年8月に障害者制度改革推進会議の総合福祉部会が提案した「障害者総合福祉法(仮称)の骨格提言」が、どこまで具体的に法案として採り入れられるのかということ事です。

この提言実現のためには、現在の障害福祉予算の倍増が必要と言われているため、国の財政状況からそれが可能なかどうか、また仮に、その財源を消費税増に求めるということになった場合、果たして国民の理解が得られるのかという問題があります。

二つ目は、神奈川施保連が加盟している全施連は、これまで知的障害者の中には24時間切れ目のない支援が必要な人がいることや、それらの人たちのために入所施設の役割・存在意義があることを訴えてきていますが、骨格提言では、それらの点が必ずしも考慮されているとは言いがたいということ事です。

私たちは、入所施設の利用者を含む知的障害者のことは、障害者

嶋田、金子、松沼、他6名計十一名で、情報交換を行いました。

安藤会長の司会で自己紹介をお互いに行つてから嶋田副会長のアンケート調査報告書の概要の説明の後、質疑応答に入りました。

特にケアホームに関しての情報交換が主に話し合われました。神奈川施保連からはケアホーム建設や支援体制に関しての疑問や不安について投げかけ、団体連合会から

本人とその家族の意見を十分に聞いた上で、その対応に関する合意形成を図るべきだと考えます。

また、当初予定どおり来年8月から「障害者総合福祉法(仮称)」を施行するためには、本年の通常国会で法案が成立する必要があると思いますが、「社会保障と税一体改革」や「医療法」「薬価法」「介護保険関連法」さらには「国民年金法」

など、国民生活の直結する重要法案が目白押しであり、加えて衆参ねじれ現象もあることから、障害者総合福祉法(仮称)が会期内に可決・成立されないという可能性もありえます。

このような状況の中、神奈川施保連としましては、あらゆる事態を想定しつつ、入所施設の利用者が安心・安全に生活できる場の確立と支援体制の強化、利用制限のない障害程度にかかわる仕組みの確立、さらには地域移行の概念の明確化などに向けて、引き続き取り組んでいく所存です。

会員ご家族の皆様の神奈川施保連に対するなお一層のご理解・ご支援を、心からお願い申し上げます。

それに対して、国や県、市町村のケアホームに対する施策について、家族会が施設に対してもっと積極的に働きかけるべきだというアドバイスがありました。

神奈川施保連からは地方議会への請願活動等について、お話しをしました。

その他、骨格提言に関しての情報交換など、十二時まで二時間に渡って有意義な話し合いが行われました。

## 1月9日理事会記録より

### 神奈川施保連後半の活動計画

- 1) 2月シンポジウムの内容の最終決定  
詳細については2頁参照ください。
- 2) 県施設団体連合会との会合
- 3) 県内市議会への請願活動案他  
目的：神奈川施保連(全施連要望事項との調整)の請願書を紹介議員の仲介で請願することで知的障害者入所施設の存続を図る。

### 平成24年活動計画

- 1) H23年度(~5月末)当初計画の予定

- 2月15日(水)常任会(この間の緊急課題中心)
- 3月3日(土)理事会 (課題解決・会費改定等)  
会場：海老名文化会館

- 4月8日(日)理事会 (課題解決)
- 4月25日(水)常任会(この間の緊急課題中心)
- 5月27日(日)理事会 (大会準備)

### 2) H24年度の予定(H24年6月~H25年5月)

- 6月10日(日)理事会(決算・予算・大会議案決定)
- 7月1日(日) 定期総会  
<県民センター301号会議室>

### 年間日程の考え方

理事会 8回・・・H23年度のとおり  
常任会 7回・・・同左

# 今、施設と利用者は-

## 利用者の地域生活移行と高齢化に関するアンケート報告書

編集：神奈川施保連調査部会 頒布価格1,000円

神奈川施保連では、これまで平成19年・21年の2回にわたって、障害者自立支援法の施行ならびに地域生活移行の推進が、施設と利用者にとどのような影響をもたらしているかについてのアンケート調査を実施し、問題点の指摘と施設(法人)および国(行政)に対する提言を行ってきました。

前回のアンケート調査実施後2年を経過しましたが、この間、利用者の地域生活移行がさらに進められており、それに伴って、ケアホーム等における利用者の生活がどのようになっているのか、また、改善を要する点はないのか、といったことについて関心を持っているところでは、入所施設・ケアホーム等を問わず、利用者が高齢化が年々進むことにより、様々な問題が生じているのではないかと、また、そのことについて施設の対応はどのようになっているのか、という点についても実態把握の必要性を感じていたところでした。

そのような状況の下で、この報告書が、障害者福祉に関係する方々に、多少なりともお役に立つことが出来れば、まことに幸いです。神奈川施保連としましては、過去2回のアンケート調査にもとづく要望事項について、関係者との認識の共有化と改善努力への取り組みが、必ずしも十分ではなかつたという点も踏まえて、今回のアンケート調査結果を、知的障害者の福祉向上に向けた組織的活動に、活かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の調査におきまして、施設の皆様に多大なご協力を賜りましたことについて、心からお礼を申し上げます。平成23年12月

神奈川施保連調査部会  
施設保護者会連合会  
会長 岩本 邦雄

購入希望の方は左記までご連絡下さい。  
神奈川施保連総務  
杉山 昌明  
電話・0463-31-4938

障害を持つ人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをしたとき、また、そのために入院したときなどに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせください。

やまゆり知的障害児者生活サポート協会(旧やまゆり互助会)  
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2神奈川県社会福祉会館内  
TEL 045-314-7716 FAX 045-324-0426

# シンポジウム開催のお知らせ 「今、施設と利用者は~」からわかったこと！ ~高齢化問題を考える

問題提起講師：彦坂健一郎氏(恵和理事長)  
シンポジスト 杉山 紀靖氏(白根学園保護者協議会会長)  
コーディネーター 金子 晋一氏(恵和家族会会長)

会場：海老名市文化会館  
期日：平成24年2月5日 時間：13:00~15:30



に保護者会があり、さらに保護者協議会があることです。  
児童寮、自立サポートセンター(旧青年寮)、社会就労センター(旧授産所)、光の丘・風の丘(旧第二成人寮)、希望(鶴見)にそれぞれ保護者会(計6)があり、独立して運営しています。

# 白根学園保護者会活動紹介

白根学園の保護者会について紹介します。白根学園の保護者会の特色は、各施設(事業所)ごとに保護者会があり、さらに保護者協議会を構成(希望を除く)されており、代議員の中から役員を選出して運営しています。各事業所保護者会の共通の課題や各保護者会単独では対応しがたい事項について、相互の情報交換や協同することによって、各保護者会の円滑な運営と学園の発展に寄与することを目的としており、協議会は総会を含め年間4回開催します。

神奈川施保連には保護者協議会として参加しており、施保連の活動状況の報告も行います。また、各保護者会の会長で構成する会長会を随時開催し、学園長との情報交換や各保護者会の現況や問題点の報告・討議、施保連の活動状況などを報告し、情報の共有を心がけており、保護者協議会の決議事項は、あらかじめ会長会で検討しております。したがって、夏・冬に開催される年2回のバザー以外の行事(新年会、誕生会、旅行、納涼祭り、スマス会、忘年会、創立記念会食、収穫祭など)は、各事業所ごとにを行い、それぞれの保護者会が支援・協力しております。

保護者会(家族)としての懸念は、利用者が高齢化に伴い医療的ケアが必要な場合です。

白根学園保護者協議会  
杉山 紀靖

家族会・保護者会からの投稿を!!

広報部会では神奈川施保連ニュース発行に当たって各家族会・保護者会の行事報告や家族会の悩みなど何でも結構ですので、編集担当までお寄せ下さい。

会員の皆様からのご投稿をお待ちしております

神奈川施保連ニュース  
編集担当